

海上自衛隊について理解が深まった！ ～海上幕僚監部防衛部長の講義に現役大学生が感動～

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は1月19日（月）、横浜市金沢区に所在する学校法人関東学院大学の学内で行われた海上幕僚監部防衛部長（齋藤海将補）の講義を支援した。本講義は同大学でオープン科目として昨年に引き続き、大学側から依頼を受けて行われた。

当日は現役大学生1年から4年生の約60名が参加し、当初資料映像を見ながら海上自衛隊の特性や役割等の説明に始まり、中段で訓練状況などのビデオ、最後に質疑応答とまとめという構成で実施され、学生達もとても興味を持って聞いていた。特に海上自衛隊は海上（主に警戒監視活動について）・空（ミサイル等国からの防衛について）・海中（他国からの潜水艦等の警戒について）と陸・海・空自衛隊の中で最も活動範囲が広いという話に参加者は驚いている様子だった。

学生からは「護衛艦の名前は昔の戦艦から取っているのですか」「自衛官になるまでどのぐらいの期間が必要ですか」「海上自衛官の給料は高いと聞きましたが本当ですか」等、詳しい内容についての質問が出てとても興味を持っている様子が窺えた。

最後に、齋藤海将補が学生に対して「この講義に参加してくれた皆さんの視線がとても輝いているのが印象的でした」と話すと、学生達も満足気に笑みを浮かべているのが印象的だった。

上大岡募集案内所は、「今後も学校開拓を積極的に行うとともに、このような支援を通じて学校との連携を進化させ、募集成果に繋いでいきたい」としている。



資料映像を使った講義に真剣に聞き入る学生

「山北町産業まつり」にて装備品～短SAM～を展示

自衛隊神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國二陸尉）は、11月23日（金）、山北町産業まつり実行委員会主催の「第19回山北町産業まつり」において、第1高射特科大隊（駒門）の支援を受け、81式短距離地对空誘導弾（短SAM）を展示すると共に広報ブースを設置し広報活動を実施した。

このイベントは、例年同様の時期に健康福祉センター駐車場と鉄道公園を会場とし、町内の産業を広く紹介し、イベント等を通じて産業に従事する人達と交流を深め、農林商工業の振興を図ることを目的に開催されている。

当日は晴天に恵まれ、メイン会場である健康福祉センター駐車場において普段目にするこのない装備品を観に来た多くの来場者で賑わった。

また、産業まつりに参加していた神奈川県立山北高等学校吹奏楽部の生徒達が演奏終了後、ブースに遊びに来てくれた。生徒達は迷彩服を试着し、装備品展示担当者と共に笑顔で敬礼しながら記念撮影に応じ、とても喜んでくれた。

短SAMや、装備品パネル展示及び3DVRの映像を見た来場者は「すごい！とても格好良い」と目を輝かせて感想を述べていた。中にはVRのリアルさに興奮した様子で、目の前に何かがあるかのように触れようとする姿がとても印象深かった。

小田原地域事務所は、「地域に対する関心の高さを確認出来た。今後もイベント等に積極的に参加し、地域との交流を通じて防衛基盤の拡充を図り、募集成果に繋げていきたい」としている。



山北高校吹奏楽部の生徒と短SAMの前にて敬礼！